

4-(1)-13 産官学連携

プロジェクトセンター/ものづくり総合研究センター/ウルトラファクトリー

平成29年5月1日現在

ものづくり総合研究センター受託関連（プロジェクト含む）

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	手しごと職人のまち東山活性化プロジェクト	2016.05-2017.03	東山区役所	伝統産業の現状や工程を調査し、区民156名から商品アイデアを収集。メンバー1人100点を企画し職人8名と意見交換し洗練させた商品30案を提案（5-7月）うち審査通過10点の実作を進めた。過年度商品を百貨店や陶器屋（6-8月）にて展示販売。五条坂京焼登り窯にて新作商品の紹介販売、活動展示、工房を巡る弾丸ツアー実施（11月5.6日/来場者344名）、東福寺では庭園菓子を100点制作販売し完売となった（12月3.4日）。職人情報を掲載するパンフレットを2000部制作し配布。工房14件を再調査し現状や展望をまとめた冊子を500部発行した（3月）。	39名	有
2	京都dddギャラリー企画プロジェクト	2016.04-2017.03	（公財）DNP文化振興財団	大日本印刷株式会社系列のDNP文化振興財団が運営するdddギャラリーで行う展覧会を共同企画し、作品制作から展示までを行うプロジェクト。情報デザイン学科・空間演出デザイン学科の3回生以上の学生でメンバーを構成し、またアーカイブチームに文芸表現学科2回生が参加した。展覧会は「experimental studies post past」と題し、印刷や刻字にまつわる現在と過去を行き来し、そこからグラフィックデザインの未来を見つける内容で開催し好評を得た。同ギャラリーは2014年に大阪から京都へ移転。それを機に大学との連携を進めており、本企画はその嚆矢となった。	14名	有
3	栗田大燈呂プロジェクト	2016.05-11	栗田大燈呂実行委員会	2008年に京都東山にある栗田神社最大の祭礼行事「夜渡り神事」を180年ぶりに復活させ、今期で9年目。神社や周辺地域の歴史・伝承等を調査し、京都の歴史・芸術・文化・風土等を掘り下げ「大燈呂」のデザインをグループで提案（6月）制作（7-10月）に取り組み、昨年度制作した5基とあわせて計10基の前夜祭での展示と祭礼巡行を実施した。本年度も栗田地域の氏子を中心に、神社境内にて大燈呂制作のワークショップを行い地域との連携も深めた。新作「大燈呂」5基は東山花灯路にも展示された。	45名	有
4	フコクアトリウム空間プロデュース	2016.05-12	三菱地所プロパティマネジメント㈱	大阪駅前にある大阪富国生命ビルの地下1階アトリウム「フコク生命の森」の空間演出プロジェクト。リアルワークPJとして2年目の今回は1年生主体で実施。夏の巨大壁画ではステンシル技法を用いて生命の根源である「遺伝子」をモチーフとした作品を公開制作。冬は一带のスノーマンフェスティバルに合わせ、輝くスノーマンツリーを制作し展示した。3年目を迎え、利用者と地下街の通行人にとっても恒例行事として定着しつつあるなか、平面・立体の教員2名体制によって今年も質の高い作品を展示することができた。	16名	有
5	しまね新商品開発2015-2016	~2016.11	公益財団法人しまね産業振興財団	2015年度から継続して、島根県の伝統工芸品を用いた商品開発・提案を継続。出雲民芸紙・来待石など4つの技法を題材に、学生と地元職人などが新たな提案づくりを行った。成果は9月の東京インターナショナルギフトショーにて「しまねものづくり」として出展。多くの注目を集めた	12名	有
6	ホスピタルアート・プロジェクト（HAPii+）	2016.07-2017.03	京都府立医科大学附属病院	京都府立医科大学附属病院から放射線部・放射線検査室、周辺の廊下の環境改善の依頼を受けた。大人だけでなく、子どもの使用頻度が高い検査室は「子ども部屋」をテーマに、淡い色彩の壁画、木製とフェルトのマグネットの設置、床には木目調ビニル床シートを敷き、自分の部屋に居るかのような安心感のある空間を作り出した。様々な年齢の方が利用される廊下は、シックな色彩の壁画で「京都のまちなみ」を表現。待ち時間を解消のため、子どもが遊ぶためのマグネットプレイエリアも用意。放射線部の職員に向けて実施したアンケートでは、高評価を頂くことが出来た。	12名	有
7	京都の木を使った「木のタイル」開発プロジェクト	2016.11-2017.07	（一社）京都府木材組合連合会	京都府の補助事業「豊かな森を育てる府民税関係事業（木材6次産業化事業）」の助成金を受けた補助事業者である一般社団法人木材組合連合会からの委託によるプロジェクト。京都府産材の利用活性化と付加価値の創出を目的とし、室内の簡易木質化につながる木のタイルのデザイン提案に取り組んだ。参加学生は、右京区京北町の林業現場を見学し、自らが製材に立ち会った木材を用いてタイルのデザインサンプルを作り、プレゼンテーションを行った。デザインサンプルは京都府木材組合連合会の事務所に展示され、アンケートを実施。これらを踏まえ、いくつかのデザインは製品化に向け、交渉予定（現在選定中。2017年9月迄に決定）。	18名	有
8	韓国湖西大学学生交流	2016.05-08	プロジェクトセンター	韓国湖西大学から、本学国際課に依頼があった案件をプロジェクトセンターで受諾し企画が始まり、アートルinkセンターにも協力頂き、実施した。本学を案内するだけでなく、芸術大学に来たからこそ提供できるオリジナルプログラムを企画し、受け入れを行った。前半2日間は金魚ねぶたを作るプログラムを行い、後半2日間はグループに分かれて映像を撮影・編集するワークショップを企画した。受け入れ期間中には、京都市内の観光プログラムも併せて企画し、交流を深めた。（参加者数 湖西大学学生：12名、教員1名）	7名	有
9	長栄マンションリフォーム	2016.04-2017.03	株式会社社長栄	2011年度からスタートした、学生による賃貸物件のリフォーム提案。前後期の2期に分かれて提案を行う。優秀なものは、実際に賃貸物件としている。2014年度よりStamp！（Students try apartment making project）と名づけ、物件デザインから派生した商品も生まれている。	13名	無

10	透析治療のためのインテリア提案	2016. 02-06	株式会社オリバー	家具メーカーの株式会社オリバーが医療機関向けに提供している透析治療用椅子について、その設置空間の提案を行った。安全のための管理とプライバシーの両立を目指すブース提案を環境デザイン学科の教員2名・学生2名が行い、さらにその外装を通信教育部・由井先生が医療空間で実践しているステンシル技法によって装飾。同社内外の展示会でも多くの注目を集め、今後ニーズの高まる分野に新しい提案をもたらすことができた。	2名	無
11	ネイルサロン向け照明器具デザイン	2016. 05-12	スターライト工業株式会社	スターライト工業株式会社は工業素材メーカーであるが、新規事業としてLED照明を開発して工場等に納入していた。個人向け商品として、演色性の高い美術照明の後継機として、ネイルサロン向けの照明スタンドのデザイン開発を依頼された。ネイルサロンのヒアリングを数度繰り返し、開発担当者と協議を重ねながら、最終デザイン図面を完成させた。	3名	無
12	医療用固定型点滴カウンターデザイン	2016. 05-11	タツタ電線株式会社	現在は看護師の目視計測が一般的である医療用点滴の滴下スピードの確認を、正確に行うための携帯カウンターのデザインに協力。プロダクトデザイン分野の大学院生2名と教員が同社開発責任者と連携し、医療者とくみ看護師に受け入れられる形状と機能性を備えた器具の最終形状開発までを行った。	2名	無
13	高浜町薬草染め研究（2年目）	2016. 05-03	青葉山麓協議会	高浜町の地元で採取できる薬草を使った染めものの研究。大学院生の研究テーマとして3年計画での取り組みとなる2年目。今年度は研究に加え、現地でのワークショップも実施。	3名	無
14	大塚国際美術館衣装制作	2016. 04-08	大塚国際美術館	「～子供から大人まで楽しめる夏の体験プログラム～<ニューヨークアートを満喫 We♥NY>」で使用する衣装5点及び小物7点の制作。スーラやドラクロアの絵画の中の人物をモチーフに衣装政策を行った。毎年恒例の夏のイベントとなっており、次年度も継続予定	7名	無
15	京都物語商店インタビュー	2016. 06-12	㈱めい・京都市商業振興課	京都の不動産の借り手と貸し手のマッチングサイト「京都物語商店」に掲載するインタビュー記事の制作協力を行った。委託元の㈱めい社員とともにインタビュー先に赴き取材、その後の原稿制作までをペアワークを中心に実施。取材先の都合等で実際の掲載には至らなかったが、実際の取材に仕事として取り組む機会となった	2名	無
16	サマーキッズフェスティバル・ワークショップ	2016. 04-08	㈱ジェイアール京都伊勢丹	ジェイアール京都伊勢丹が夏休みに展開している「キッズイベント いろんなモノつくっちゃおー！」の中の1プログラムを担当。こども芸術学科梅田ゼミ生によるオリジナル絵本づくりのワークショップ「MY BOOKをつくろう」を同店7階おもちゃ売場にて実施。3日間の開催中、こども芸術大学の児童を含む多数の子どもたちの参加を得た。	9名	無
17	森の京都 PV製作	2016. 04-2017. 03	株式会社響映・京都府	昨年の「海の京都」に引き続き、今年度のテーマである「森の京都」のPR映像制作。卒業生を中心に制作チームを編成し、3月よりHP上で公開されている	3名 (卒業生5名)	無
18	山本能楽堂資料アーカイヴ	2016. 07-2017. 03	(公財) 山本能楽堂	未整理非公開であった山本能楽堂で所蔵する資料のアーカイブと展示公開事業2年目。今回は、フィルム・ビデオの映像資料、オープンリール・レコードの音声資料のデジタル化、雑誌・パンフレット・ブローシュア表紙のデータ化、分類整理を中心に行い。館内検索、再生アプリとして公開するにいった。館内閲覧、保存のためにケースを選定購入し、製本や修復を行い公開に備えた。10/29-31. 11/6に「山本能楽堂の創設・再建時の資料展示」、3/11. 12には「山本博之アーカイブ展」を開催した。	9名	無
19	イオン交換膜用繊維素材の検証	2016. 07-	AGCエンジニアリング株式会社	AGCエンジニアリング株式会社が開発中のイオン交換膜に用いる補強布の耐性検証試験への協力。17年度に継続	0名	無
20	京都市ごみ減量啓発マンガ制作	2016. 08-2017. 2	株式会社ひでみ企画	京都市が制定したごみ減量推進のための「しまつのこころ条例」の啓発マンガの制作を受託。『恋する京都』と題した22ページの作品の中で、京都の女子大学生とアメリカからの留学生が日常生活で出会うごみ減量について描いている。冊子は京都市内の行政機関や各大学を通じて配布された。	1名	無
21	外国人居住者向け防犯防火ガイドブック制作	2016. 10-2017. 02	京都市左京区	京都市左京区が区内に暮らす外国人居住者に防犯・防火について啓発する冊子のイラスト制作をキャラクターデザイン学科2回生が、デザインを情報デザイン学科卒業生が担当した。犯罪発生件数など統計を紹介しながら、空き巣や自転車盗難など日常の被害と対策をイラストで具体的に提示。日本語に不慣れな外国人にも分かりやすい工夫を行った。英・中・韓の3か国語で発行され、今後は日本語も検討されている。	1名	無
22	淀川区役所アートジャック	2016. 10-2017. 03	大阪市淀川区	大阪市淀川区役所からの依頼によるアートプロジェクト企画。区役所内オープンスペースを活用し、区内の小学生を対象としたワークショップ&レクリエーション企画「地獄の淀川天国」を3/19に開催した。まちづくりのエキスパート中脇先生の指導の下、学生メンバーがフィールドワークを複数回行い、地域ごとの特徴を引き出す「巨大すごろく」を制作した。すごろくのコマは、淀川テクニック柴田先生監修の下、参加小学生が持ち寄った履かなくなった靴を土台に、淀川周辺で拾得したゴミを用いてデコレーションするコマ作りワークショップを実施。定員50名のところ、61名の小学生の参加があった。	コアメンバー5名＋ 当日スタッフ14名 (学外生含む)	無

23	EIDAIフローリングデザインコンペ	2016. 05-09	永大産業株式会社	住宅設備大手・永大産業株式会社が開発したデザインフローリングの新しい可能性を探るため、学生によるデザインコンペを開催。コンペ参加者を事前に募る形式とし、最終案提出までに木質フローリングへのプリント技術を知るためのレクチャーや同社のショールーム見学などを盛り込んだ。提案は社内でも好評を博し、本学内でも試作品の展示会と表彰式を行った。同コンペは企業を知るキャリア支援プログラムの新たな確立する契機となった。	8名	無
24	京都学生祭典・伏見プレイベント協力	2016. 03-05	京都学生祭典実行委員会	前年度の伏見+Artフェスティバル2015プロジェクトをきっかけに、京都学生祭典が同地域で行うイベントとバレードに協力。5月21日に伏見港公園一帯で行われた同祭典主催のプレイベント会場にて前年度プロジェクト参加学生がワークショップを出展。その参加児童らとともに、同じく前年度に制作した移動型ねぶた「輪入道」を動かしてバレードを盛り上げた。委託元の京都学生祭典実行委員との連絡・交渉役も学生が務め、学生同士で協力しながら進めるプロジェクトとなった。	25名	無
25	ユニクロ乗寺院OPEN記念タンブラーデザインコンペ	2016. 10-11	ユニクロ乗寺院	ユニクロ乗寺院のオープン記念ノベルティ「ユニクロ乗寺院特製タンブラー」の柄デザインを担当。コンペ形式で実施し、2名2案のデザインが採用。10月21日からのオープンセール期間中に配布された。	2名	無
26	ルクア販売店舗什器制作	2016. 12-2017. 01	株式会社コムユースタイル	JR大阪駅に隣接するルクアイーレにて雑貨販売に使用される木製什器を制作。環境デザイン学科の学生が設計から制作、納品までを一貫して担当した。	1名	無
27	ときめきチャレンジ推進事業（大山崎PJ）	2016. 07	大山崎町教育委員会	アートフェスタin大山崎町2016の一環として、大山崎町内の児童向けワークショップ「ときめきチャレンジ」の7月分を担当。町内の小学校体育館を開錠に、アートフェスタで展示する「光る布」を町内の児童約50名とともに制作した。	26名	無
28	高島屋ハロウィントリックアート原画募集	2016. 09-10	㈱高島屋京都店宣伝部	京都高島屋のハロウィンイベントの一環として店内3箇所でのトリックアート装飾を行うための原画を制作。学生3名が提案したものが採用され、7Fレストランフロア、北館1Fアクセサリフロア、1F正面西側入口に施工された。SNS発信を目的としたフォトブースとなっており、親子をはじめとした来店者が楽しめるものとなった。	3名	無
29	新本社ビル壁画制作	2016. 02-04	株式会社しゅつ	一級建築士事務所・株式会社しゅつが京都市伏見区に本社ビルを新築移転するのに伴い、通りに面した1階防火壁に約2m×3mの壁画を制作する依頼を受けた。本社ビルの「顔」として地域にも親しまれる作品原画をコンペ形式で募集。採用された1回生が実際に制作に取り組んだ。	3名	無
30	バプテスト眼科壁画作品展示（第2期）	2016. 01	バプテスト眼科山崎クリニック	バプテスト眼科山崎クリニックの入院棟壁面での作品展示の第2期。前回同様にこども芸術学科の授業内で取り組んだ多様なコロジオン版画から2点を選出していただき、額装して該当壁面に展示を行った。	2名	無

プロジェクトセンター企画

No	受託研究名	期間	助成・協力機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	まか通 近代産業遺産アート再生プロジェクト	2016. 04-2017. 03	京都市助成金 蒼山会補助	東山区に眠る地域資源をアートで再生するプロジェクト。10年目を迎えた2016年度では「ことぐらし」というテーマを掲げて活動。陶器人形展示、地獄絵絵解きイベント、鍾馗祭といった恒例イベントも継続。その中でも、今年度は「地蔵盆」に焦点を絞った。地獄絵絵解きで使用した原画をもとに「地獄絵のおはなし」という絵本を制作。この絵本を用いて6ヶ所の町的地蔵盆で読み語りをを行い、絵本の贈呈も出来た。また地蔵盆での読み語りに留まらず、イベントでの販売、ラジオ・新聞での紹介、問い合わせが入るなど反響も大きかった。	19名	有
2	アートフェスタin大山崎町2017	2016. 04-09	蒼山会補助	「大山崎町のことをもっと好きになる」をコンセプトにアートイベント継続してきた本プロジェクトは10年目を迎えた。今年のテーマは10周年記念と町のシンボルである天王山をかけて「10天王山」と題し、灯す天王山、響く天王山、連なる天王山など10個の企画を実施した。ライトアップや展示などこれまでも学生が主として行ってきた企画を継続したのに加え、地域住民や団体が主体となる企画も複数開催。4日間の会期では初めて1,000人を超える来場者を得ることができた。	29名	有
3	学園祭見世物小屋プロジェクト	2016. 05-09	蒼山会補助 (来場者売上あり)	過去最多の参加学生数で活動を行い、結果としても、過去最高の入場者数を動員することが出来た。大学生や中高生に身近なSNSを題材に取り上げ「素顔」というタイトルで実施した。見世物小屋内の実際の展示や仕掛けと連動して、事前の広報活動にも力を入れることが出来た。6チームに分かれて制作を進め、至誠館2階全てを使い、実施することが出来た。そのため入場者からは非常に高い満足感を得ることが出来た。2016/9/18・9/19（2日間開催）売り上げ金：657,500円、入場者数：1,463名	58名	有

4	びわ湖ホールサポートプロジェクト	2016.05-17.02	(公財) びわ湖ホール	2014年度に結んだ教育連携協定に基づく同ホールとの連携事業をリアルワークプロジェクト化し、2年目の実施となった。「びわ湖メイト」向け特別公演の企画・制作・出演を行った。今回は、舞台芸術学科のみならず多学科の学生も参加し、総勢40名という規模の拡大になった。また制作中の分業制の確立、公演全体のクオリティ向上に繋がった。(公演日: 2/18(土))	40名	有
5	東山花灯路2017	2017.01-03	京都・花灯路推進協議会	2003年度より毎年3月に開催、京都の春先に行われる歴史的な文化遺産や風情ある景観・街並みを「灯り」と「花」で演出するイベント内の企画「大学のまち伝統の灯り展」に4点の作品を出展。デザイン企画、制作、搬出入、スケジュール全般の管理を行う。展示初日に他の出展大学と協働で各作品のレビューを行った。(展示期間: 3/13~12 展示場所: 大谷祖廟参道)	25名	有

ウルトラファクトリー企画

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与 (人数)	単位認定
1	ヤノベケンジ「シネマタイズ」展インсталレーション造作費等 (ヤノベケンジ×映画@高松市美術館)	2016.05-07	高松市	7月から9月にかけて高松市美術館で開催されたヤノベケンジの大規模個展「CINEMATIZE」展が開幕、終了するまでに学生が携わった。展覧会プロモーションから展示構想、ヤノベの初期作品を含む30数点におよぶ彫刻群の設営、オープニングや記者発表などの会期中のイベント、撤去に至るまで、美術館での展覧会の始終に関わることができた。	7名	有
2	「シネマタイズ」展制作費および『BOLT』制作費 (ヤノベケンジ×映画@高松市美術館)	2016.05-	ジャンボフェリー (株)	ヤノベケンジの個展「CINEMATIZE」展会場をはじめ、高松市美術館、高松市内を舞台に撮影された林海象監督、永瀬正敏主演による新作映画『BOLT』の製作に東北芸工大の学生と共に携わった。学生は、映画に登場するコスチュームなどの制作、小道具、セットの準備などの美術部、音響、照明などの撮影部、演者のケアをする俳優部、そして出演する役者としてプロフェッショナルな現場を経験した。	6名	有
3	ULTRAXANTEROOM exhibition 協賛金	2016.04-09	ホテルアンテルーム京都	京都のアートやカルチャーの発信をコンセプトとする「ホテルアンテルーム京都」の依頼により、ホテルのリニューアルにあわせ、著名なアーティストから若手まで、ウルトラファクトリー縁のクリエイター24組の作品を一堂に会した「ULTRA×ANTEROOM exhibition 2016」を開催した。若手作家育成のためのアートコンペティション「ULTRA AWARD 2015」から10名の作家がキャリアのある作家と肩を並べて出品し、展示経験と多くの来場者に作品を見てもらえる機会となった。	10名 (卒業生含む)	無
4	ANTEROOM ヤノベコンセプトルーム制作費	2016.04-07	ヤノベケンジ (ホテルアンテルーム京都)	「ホテルアンテルーム京都」のリニューアルの一環として企画されたアーティストによるコンセプトルームのひとつであるヤノベケンジの部屋に設置するオリジナルのイスと照明を制作した。これまでプロジェクトに関わったスキルのある学生1名がヤノベの指導のもと、報酬を得て制作に関わった。	1名	無
5	ラッキードラゴン搬入搬出設営費用	2016.11-12	一本松海運 (株)	ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》の船部分を所有する一本松海運株式会社からの依頼で、11月末にマイドーム大阪で開催された企業イベントに《ラッキードラゴン》の頭部を展示。搬入・搬出をウルトラファクトリーが請け負った。	0名	無
6	ラッキードラゴン設営材料費	2016.11-12	大阪府中小企業団体中央会	ヤノベケンジ《ラッキードラゴン》(2009年に大学で学生と制作)の船部分を所有する一本松海運株式会社からの依頼で、11月末にマイドーム大阪で開催された企業イベントに《ラッキードラゴン》の頭部を展示。搬入・搬出をウルトラファクトリーが請け負った。	0名	無
7	福島ビエンナーレ《フローラ》設営・解体費	2016.11	(株) 二本松市振興公社	福島ビエンナーレで展示したヤノベケンジと増田セバスチャンの共作《フローラ》(2015年に大学で学生と制作)の設営および撤去作業をウルトラファクトリーが請け負った。	0名	無
8	増田セバスチャン New Generation Plant #2 制作費 (増田セバスチャン未来はカラフルプロジェクト)	2016.05-12	エルエルエス	東京・青山にあるワタリウム美術館のエントランスに設置する作品として、2015年から増田が「新世代」である学生とともに制作している「New Generation Plant」のシリーズ2作目となる《New Generation Plant #2》を制作。透明なキノコ型の造形物の中に、学生がカラフルで「Kawaii」をテーマに街の人たちから譲ってもらった素材が入っている。学生は素材の意味を考え集める過程から、造形作業まで作品制作の一連の制作に携わった。	8名	無

9	ULTRA×SANDWICH PROJECT 第12期	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	名和晃平が主宰する「SANDWICH」における制作、企画、運営に学生が参加するプロジェクト。アーティスト、建築家、デザイナーなど、国内外からさまざまなクリエイターが集い進行する複数のプロジェクトに関わる。ベルギー人の振付師ダミアン・ジャレと名和晃平との共作パフォーマンス『VESSEL』では演出の実験やステージの設計・制作を行い、日本各地での上演に関わった。また、広島、神勝寺のアートパビリオン『洗庭』の設営や、「六本木アートナイト」の構想から設営など、多岐にわたるプロジェクトに携わり、名和の仕事の間近で体感することのできるプロジェクトとなっている。	17名	有
10	やなぎみわ演劇プロジェクト	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	2014年にやなぎみわがスタートさせた移動舞台車での演劇公演、『ステージトレイラープロジェクト』における演出部、美術部、衣装部、制作部など演劇公演を構成する全てに学生が関わっていくプロジェクト。稽古から本番終演後のバラシまで参加することにより舞台制作の流れを知る。今年度は横浜、和歌山新宮、高松、大阪を巡った中上健次原作『日輪の翼』の旅公演に学生が関わった。	12名	有
11	Japan Handmade	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	西陣織の伝統と技術を引き継ぐ創業約300年の京都の老舗、株式会社細尾が所蔵する江戸時代からの手描きの帯の図案約2万点をデジタルアーカイブ化し、それをリソースに、プロダクトなど新たな展開を試みるプロジェクト。今年度はdddギャラリーでのグループ展『物質性-非物質性 デザイン&イノベーション』で5千点のスキャンデータを使用したアニメーション作品などを展示したほか、「ライフスタイル」をテーマに新たなプロダクト開発に挑戦した。	5名	有
12	*design	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	「まだ見ぬデザイン」を研究・探求することを目的とし、領域を横断してさまざまな視点から議論を重ねて進行するデザインに特化したプロジェクト。beautyとutilityの造語「beautility」を1年のテーマに、5円玉のリデザインや、ポスターを媒体にした制作をはじめ、近年、新聞の売り上げが低下していることに着目して、未来の新聞を考える展覧会『FUTURE NEWSPAPER』を開催した。後期は実践デザインとして、小豆島にオープンする地ビールメーカーのためのグラフィックと空間デザインも行った。ウルトラのデザイン物も実践演習として担当する。	16名	有
13	BYEDIT	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	毎週企画編集会議を行い、インタビューやワークショップの実施、記事の企画、取材、執筆などを行う編集プロジェクト。今年度は「ウェブメディア」をテーマに掲げて人工知能の研究者やクリエイターを交えてウェブの可能性を探った。後半は京都をリサーチして、スカウ、物集女といった地名を探索し、ステッカーを制作。ウルトラの広報誌「THE ULTRA」の企画・編集と「ULTRA AWARD」の編集も行い、さまざまなメディアを通して、編集することを学んだ。	6名	有
14	kumagusuku プロジェクト	2016. 05-2017. 03	本学自主企画	アートを体験できる宿泊型アートスペースkumagusukuの2号館の立ち上げや、kumagusukuの企画活動に携わるプロジェクト。ホテル内や展示会場でkumagusukuを体感できるスペースや展示作品の制作や、ホステルの周辺カルチャーマップのリサーチと制作を行ったほか、マガザンキョウトとの共同プロジェクトでは、学生企画のイベントも開催し、「アート」を媒介するkumagusukuをベースとしたさまざまな活動に関わっている。	9名	有
15	淀川テクニック！プロジェクト	2016. 05-2017. 02	本学自主企画	ゴミを素材に作品を制作する淀川テクニックの作品制作に携わるプロジェクト。参加学生は淀川でのゴミ拾いから、素材の分類、ゴミを配したオリジナルの「魚」を制作することから作品の意味や製作過程を理解し、ミヅマアートギャラリーや瀬戸内国際芸術祭で実際に展示した作品制作を行ったほか、子どもたちとのワークショップのファシリテーターも務めた。	8名	有
16	山本太郎 鏡板プロジェクト	2016. 05-06	本学自主企画	大阪の山本能楽堂から依頼された、移動式の能舞台の背景となる鏡板を制作するプロジェクト。学生は能楽堂との打ち合わせから、奈良・春日大社の「影向の松」の取材、板に画を描く日本画家のアトリエ訪問などのリサーチを経て、山本太郎による鏡板の制作に携わり、構想から完成まで作家の作品制作の一部始終を間近で体験できる機会となった。	3名	無
17	ULTRA AWARD 2016	2016. 04-2017. 03	本学自主企画	2015年に引き続き、長谷川祐子がキュレーションを担当し、テーマ「NEW ORGANICS—ニュー・オーガニクス—」のもと、10名の作家が選出、長谷川による作品指導を経て、展覧会を開催した。展覧会は学内各所に分散して展示され、色、音、においなど感覚を刺激する作品群によって、いつもの空間が変容し、展覧会自体が場所を侵食して生成することく有機的に接合されたものとなった。最優秀賞は、福島の問題を扱いながらも、自身の生い立ちや猟師である生き方を核にした映像作品を制作した井上亜美が受賞した。審査では複数の作家が最優秀賞候補にあり、最終的には審査員がそれぞれ個人賞をつけたほど、力作ぞろいと評価された。	10名（卒業生含む）	無

4-(1)-13 産官学連携

アート・コミュニケーション研究センター

平成29年5月1日現在

アート・コミュニケーション研究センター受託関連

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	奈良県図画工作・美術教育研究会 講演会	2016. 6. 2	奈良県図工美術研究会	奈良県図画工作・美術教育研究会が講演会を開催、福と北野が講師として参加し、対話型鑑賞についてのレクチャー・ワークショップを実施した。	無	無
2	児童・生徒の「思考力」を育むファシリテーター育成事業	2016. 6. 5- 2017. 3. 31	愛媛県美術館	本学アートプロデュース学科・アート・コミュニケーション研究センターでは、2015年度より愛媛県美術館が行っている「愛媛県美術館・博物館・小中学校共働による人材育成事業」に、外部専門家として協力している。同事業では、対話型鑑賞の他教科への応用について可能性を探ること、有志の美術館・博物館学芸員、小中学校教員をファシリテーターとして育成することを目的としている。トレーニング研修、プログラム評価会議、授業観察に講師・観察者として参加した。	無	無
3	5年組合員研修	2016. 6. 11	小泉産業グループユニオン	小泉産業グループユニオン主催の「5年組合員研修」に、本センターの岡崎が登壇した。業務に直接関わる知識の獲得よりも、参加者に内発的な気づきや知的な刺激を持ち帰っていただくことを目的とし、講義とワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
4	芦屋美術会 講演会	2016. 6. 27	芦屋美術会	芦屋市が運営するコミュニティスクール「芦屋川カレッジ」を母体とするカルチャークラブ、「芦屋美術会」に福・北野が講師として参加。『アートは「？」そして「！」』と題して、講演を行った。	無	無
5	Think School	2016. 7. 16	一般社団法人PROJECTA	芸術文化活動やまちづくり活動を担う人材育成と交流拠点の形成を目指し、「アートマネジメント／まちづくり」を学べるアートスクールとして2016年5月に開校したThink School。『「みる・考える・話す・聴く」コミュニケーションを通した作品鑑賞』と題した同スクールの授業に本センターの岡崎が登壇し、講義とACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
6	i-adventure 2016	2016. 8. 22、9. 1、 9. 12、11. 29、 12. 12、20、 2017. 2. 25-26	テンプホールディングス株式会社	テンプホールディングス株式会社主催の社内公募型研修「i-adventure」は、“遊ぶように学ぶ”というコンセプトのもと、NPO法人や社外企業と連携し、課題解決ワークショップやアート鑑賞、演劇を活用した“感性を磨く”セミナーなど、社員研修としては珍しい手法も取り入れながら、変化に合わせ自律的に挑戦する社員の育成を目指している。同研修に伊達と岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップ、ACOPによる作品鑑賞を行った。	無	無
7	OpenStorage2016「鑑賞プログラム」	2016. 9. 2-19	一般財団法人おおさか創造千島財団	一般財団法人おおさか創造千島財団主催の展覧会「OpenStorage 2016」（9/2 - 19）において、本学アートプロデュース学科・アートコミュニケーション研究センターが協力し、昨年度に引き続き対話型の作品鑑賞プログラムを開発・実施した。	ASP学科学生4名	無
8	新入社員総まとめ研修	2016. 12. 14-15	住友理工株式会社	住友理工株式会社の新入社員を対象に「新入社員総まとめ研修」と銘打った2日間の研修を実施した。研修の目的は「これまでの経験を振り返り、自分の行動について考え、今後周囲の人と仕事をする術を知る」「常にPDCAサイクルを繰り返す、自律的に学び続ける習慣を身につける」こととし、当日は伊達と岡崎が「みる・考える・話す・聴く」をテーマに、講義と複数のワークショップを行った。	無	無
9	総合職4級昇格者フォロー研修	2017. 3. 17	住友理工株式会社	住友理工株式会社の総合職4級昇格者を対象に、「論理的な考え方や話し方について、振り返りと深掘りを行い、さらに向上させる」ことを目的とした研修が実施された。当日は岡崎が登壇し、レクチャーとワークショップを行った。	無	無

アート・コミュニケーション研究センター主催事業

1	免許状更新講習「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」	2016. 7. 29-31	-	2009年、2011年～2015年に引き続き、2016年度も、「コミュニケーション・スキルアップの3日間！」と題し、本学を会場に開催。講師として本センターから、福、伊達、北野、岡崎、青山の5名が参加。また三重県総合博物館館長である大野照文氏を招き、美術教育、理科教育、臨床心理学と、多様な視点から「コミュニケーション」をテーマにレクチャーやワークショップを実施した。	ASP学科学生2名	無
2	豊島つなぐプロジェクト-地域とアートの新しい関係をつくる-	2016. 4. 30- 2017. 3. 31	-	地域を専門とする香川大学経済学部 地域社会システム学科と連携し、公益財団法人福武財団「2016年度文化と芸術による地域振興の助成」の助成事業として「豊島つなぐプロジェクト-地域とアートの新しい関係をつくる-」を瀬戸内国際芸術祭の会場である豊島にて実施した。半年間にわたって、現地調査、ワークショップ、住民へのインタビュー調査等を実施した。	ASP学科学生5名	無

4-(1)-13 産官学連携

プロダクトデザイン学科

平成29年5月1日現在

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	PD総合Ⅳ A	2016. 09-2017. 02	株式会社大創産業	株式会社大創産業が「ダイソー」として展開している100円均一ショップの商品デザイン提案を行った。学生向けの100均商品としてアイデア展開、モックアップ政策を行い、数度の中間チェックの後に、東広島の本社に於いてバイヤーに対してプレゼンテーションを行った。提案したものに關しては、商品化に向けて検討を行っていただいている。	12名	有
2	企業研究Ⅱ	2016. 04-2016. 12	大商硝子株式会社	以前、空間演出デザイン学科と産学連携を行っていた大商硝子株式会社に対して、ガラス瓶のデザイン提案を行った。大商硝子株式会社はガラス瓶のOEMメーカーで、クライアントに提案する独創的なガラス瓶のデザインを求めている。工場見学の後、中間チェックを経て、社長及びデザイン室長、製造部長にデザイン案をプレゼンテーションした。	7名	有
4	PDプロジェクトⅢ ソニー株式会社とのME S H活用デザイン共同開発	2016. 09-2017. 01	ソニー株式会社	本プロジェクトは、PD学科が掲げるプロフェッショナル育成教育の一環として、グローバルに事業展開しているトップ企業とデザイン開発のコラボレーションを実践し、第一線のプロフェッショナルと協働し、指導を仰ぐことを通じ、知識、スキル、開発手法、などを体得修学し、真のプロへの道を拓く 実教育の場として設定。併せて就業対象としての展開も期待。今回は、ソニー（株）様とのI O Tを用いた最新ツールであるME S Hを用いた展開をテーマに取り組み、きめ細かなご指導により15案のデザイン提示に結び付け、ソニー本社で事業責任者の御臨席を仰ぐプレゼンテーション実施に至った。学生も強い刺激を受け、稀有な経験と併せて極めて多くを学ぶことに繋がったと認識、結果、リッパサービスがあるとしても極めて高い評価を頂き、産学両社にとって極めて有為な活動になった。	15名	有

情報デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	駅ナカアートプロジェクト	2017. 01-06	京都市交通局	「ディスカバー “地域”」をテーマに、地域の魅力を広く地下鉄利用者に情報発信することを目的とし、地下鉄駅構内におけるアート作品創作による演出を行った。本学は東西線東山駅を担当。	5名	無
2	京を包むプロジェクト	2017. 02	京都ふろしき振興会	今回で4回目となる京都ふろしき振興会のイベントの告知用グラフィック全般とイベント中に行う「包むワークショップ」スタッフ担当。	4名	無

空間演出デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	デザイン視点からの島の魅力化	2014年～	海士町教育委員会	島根県隠岐島郡海士町にて滞在制作を行う。 またメディアで知ることのできないさまざまな島民個人の思いにも耳を傾け、2015年度にはカフェのデザイン・運営や、おみやげ・お守りの制作販売を行った。2016年度にも引き続きカフェの運営等を行った。	約20名	有

キャラクターデザイン学

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	ホステルWeBase鎌倉	2016. 04-09	株式会社レーサム 株式会社Webase	東電の保養所であった施設を株式会社レーサムが取得、コミュニティホステル「WeBase鎌倉」を開業するにあたりメインロゴ、WEBサイトのアニメーション、館内サイン約60種を制作した。 2017年7月に開業する「WeBase福岡博多」についてもウルトラファクトリーと共同制作のもと現在進行中（契約金額未定）。	36名	無
2	ホステルWeBase鎌倉 Webサイトメンテナンス	2016. 08-2017. 03	株式会社WeBase 株式会社ユニモト	上記のプロジェクトのWEBサイトメンテナンスを受注のうえ、株式会社ユニモトへ再外注している。	0名	無
3	ジークレストプロジェクト	2016. 12-2017. 03	株式会社ジークレスト	スマートフォンアプリにおいて生み出した商品が絶大な人気を誇る株式会社ジークレスト様と産学連携を締結。スマートフォンアプリ「夢王国と眠れる100人の王子様」のキャラクターを制作した。	6名	無

映画学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	「白川地域声かけ運動」 搜索及び声かけ訓練記録映像 DVD映像制作	2016. 08～	京都市白川地域包括支援センター	京都市白川地域包括支援センター様が中心となって、2016年11月28日（月）に実施された、北白川地域に住む高齢者への地域ぐるみの声かけ運動と、各方面への搜索連絡網確認のための模擬訓練を、当学科学生が記録撮影、編集してDVDとして納品する。	2名	無

環境デザイン学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	瀬戸内国際芸術祭2016「竹の茶室」	2016. 01-11	株式会社アートフロント ギャラリー	瀬戸内国際芸術祭2016参加作品「竹の茶室」を学生や地域住民とともに制作し、展示のための定期的な周辺整備を行なった。また芸術祭期間中にお披露目の茶会やアートの作品展示、grafによる公式イベントとしての茶会を行なった。	30名	無
2	海士町「島のにぎわい創成」	2016. 08	海士町観光協会	2015年度のワークショップ、空き家改修に引き続き、映画学科とともに空き家改修を行なった。今年は島前高校の生徒も空き家改修に参加し、一緒に合宿した。また地域のお祭りを手伝った。	4名（環境デザイン学科）	有
3	リナ・ボ・バルディ展	2016. 12	ワタリウム美術館	東京の渡り生む美術館で開催され好評を博した、ブラジルを代表する建築家のひとり、リナ・ボ・バルディ展の巡回展を人間館ロビーで行なった。搬入、展示、搬出を一部授業として、学生とともに行なった。	60名	無
4	35mm合板テーブル作品展	2016. 04-10	一般社団法人デザイン・ロック まちデコール実行委員会	本学環境デザイン学科と大阪工業大学空間デザイン学科からそれぞれ7名ずつの学生が参加し、通常は船舶内倉庫床材などに使用される特殊な厚手合板を素材にテーブルをデザイン・制作。材料提供は株式会社セニエイ。4月からの準備・制作期間を経て、西日本最大級のインテリアデザインイベント「まちデコール」2016の主要イベントとして10月12日から14日まで、大阪・本町ガーデンシティ1Fロビーで展覧会が開催された。	7名	無

アートプロデュース学科

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定 （有／無）
1	リサーチプロジェクト(2015年度まで：美術館調査)	2016. 4-2017. 3	調査対象者（美術館・アートセンター）	全国的美術館や公共施設、芸術祭などアートにまつわる場所・環境を調査対象とし、学生の素朴な疑問を出発点にアンケートを作成。集計・分析し、芸術と文化の現状および問題点を明らかにする。完成した報告書は一般販売。16年度報告書売上げ＝190,954円	18名	有

4-(1)-13 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター 歴史遺産研究部門

平成29年5月1日現在

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	国立民族学博物館「標本資料の保存管理手法の研究」	2016. 4. 1～ 2017. 3. 31	大学共同利用機関法人 人間文化研究機構 国立民族学博物館	国立民族学博物館所蔵の標本資料について、館から支給されるマニュアルに基づいて資料の材質・状態調査を行い、資料の破損・劣化箇所等を「点検情報基本カード」に記録し、保存科学研究の基礎データを作成する。	有り（15名）	無
2	芸術館所蔵浮世絵資料 保全処置業務	2016. 4. 1～ 2017. 3. 31	京都造形芸術大学 芸術館	※学内業務 芸術館所蔵の、浮世絵資料に付着した粘性の物質の除去および保全処置、マウント作業。	有り（20名）	無
3	プロジェクトセンター 山本能楽堂 資料保存修理処置	2017年3月	京都造形芸術大学 プロジェクトセンター	※学内業務 山本能楽堂所蔵の資料保全処置。	有り（3名）	無
4	久多の里山活性プロジェクト 調査	2016. 4. 4～ 2017. 3. 31	久多自治振興会	分散収蔵している京都市登録有形民俗文化財「久多の山村生活用具」の所蔵状況および破損状況の調査を実施し、記録する。	有り（8名）	無
5	久多の里山活性プロジェクト 普及	2016. 4. 4～ 2017. 3. 31	久多自治振興会	京都市登録有形民俗文化財「久多の山村生活用具」の巡回展を行なう。	有り（8名）	無
6	真田山旧陸軍墓地の墓石に関する調査および強化処理	2016. 4. 1～ 2017. 3. 31	公益財団法人 真田山陸軍墓地維持会	真田山旧陸軍墓地における墓石の劣化状態調査結果に基づくC～Dランク墓石の強化処理の研究を行う。	有り（2名）	無
7	一柳家墓石の保存修復に関する現地指導について	2016年9月～ 2017年3月	財）元興寺文化財研究所	財）元興寺文化研究所のとり行う一柳家墓石の保存修復を、現地に指導する。	無し	無
8	山本芳翠筆 紙本著色「人間万事塞翁が馬」蛍光X線分析	2016年4月	有限会社 墨仙堂	山本芳翠筆 紙本著色「人間万事塞翁が馬」の蛍光X線分析	無し	無
9	絹本墨書扁額「誉之茶銘」の保存修理	2016年4月	㈱文化財保存	絹本墨書扁額「誉之茶銘」の保存修理	無し	無
10	田川市 近現代紙資料およびブルーブラックインクに対する処置 方法の検討	2016. 4. 1～ 2017. 3. 31	田川市	近現代紙資料およびブルーブラックインクに対する処置方法を、共同で研究する。	有り（1名）	無
11	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構 関西支部金銭出納、帳簿記載業務	2016. 4. 1～ 2020. 3. 31	特定非営利活動法人 文化 財保存支援機構	特定非営利活動法人 文化財保存支援機構の関西支部における金銭出納、帳簿記載事務。	無し	無
12	ガラス乾板の調査とスキャン作業	2016. 7. 1～ 2017. 3. 31	京都国立博物館	京都国立博物館所蔵のガラス乾板のうち、新に見つかった小サイズのガラス乾板（四つ切）中心に状態調査を行い、劣化・破損箇所を記録、ガラス面のカビや埃の除去を行い、スキャナを用いてスキャンしデジタルデータ化を行う。	有り（9名）	無

4-(1)-13 産官学連携

日本庭園・歴史遺産研究センター 日本庭園研究部門

平成29年5月1日現在

No	受託研究名	期間	委託機関	概要	学生関与（人数）	単位認定
1	H28玄宮楽々園植栽整備委託業務	H28. 5. 18-H29. 3. 24	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において、名勝庭園の重要な構成要素である植栽に特化し、園内で定められた特別管理木を対象に剪定修復、眺望の回復並びに修景管理指導を委託されたものである。	有（学部生1名、卒業生3名）	無
2	H28名勝庭園管理アドバイザー委託業務	H28. 5. 18-H29. 3. 24	彦根市	滋賀県彦根市に所在する名勝玄宮楽々園において、名勝庭園の維持管理を務める彦根城内常設作業員に対し、文化財管理に携わる心得から技術伝達などについてセンターから所員を派遣し指導の実施を委託されたものである。	有（卒業生2名）	無
3	名勝会津松平氏庭園池護岸修復及び修復記録作成業務委託	H28. 5. 6-H29. 3. 24	会津若松市	福島県会津若松市に所在する名勝会津松平氏庭園御薬園において、護岸の修理及び作業工法の記録、工事完了箇所の測量調査を委託されたものである。また年3回開催される委員会に参加し事業運営の協力を行った。	有（卒業生3名）	無
4	平成28年度日本万国博覧会記念公園日本庭園植栽・景観創出業務	H28. 4. 1-H29. 3. 31	阪神造園建設業協同組合	大阪府吹田市に所在する万国博覧会記念公園の中に位置する万博日本庭園において、景観の監理及び個別の剪定等の技術指導を委託されたものである。	有（卒業生2名）	無
5	名勝柴田氏庭園植栽整備指導業務	H28. 5. 23-H29. 3. 24	敦賀市	福井県敦賀市に所在する名勝柴田氏庭園の本来の姿、魅力を取り戻すため、保存整備計画に基づき実施設計を行い、監理指導を委託されたものである。また、委員会の事務局運営の協力を行うとともに、庭園の日常の維持管理行為についても助言・指導を行う。	有（卒業生2名）	無
6	平成28年度京都御苑桂宮邸跡庭園調査業務	H28. 7. 11-H29. 3. 24	環境省自然環境局 京都御苑管理事務所	京都府京都市に所在する京都御苑内に位置する旧桂宮邸庭園において、史資料調査並びに現地調査を実施した上で、文化財的価値の評価所見などを含めて調査報告書として作成することを委託されたものである。	有（学部生1名、卒業生2名）	無
7	国指定名勝「妙国寺庭園」保存活用計画策定案委託業務	H28. 8. 19-H29. 3. 20	日向市	宮崎県日向市に位置する名勝妙国寺庭園において、歴史概要、価値評価を理解するための文献資料の整理、日常の保全・維持管理作業について整理し、積極的な文化財庭園の活用を前提にした利用計画と合わせて修理工事の年間事業計画を含めた保存活用計画書作成を依頼されたものである。	有（卒業生3名）	無
8	文化遺産の庭園を活用した庭園管理実践講座の開講（村岸邸）	H28. 8. 17-H29. 2. 15	特定非常利活動法人 いろは組	本業務は国の補助事業の一環で、滋賀県彦根市の村岸邸において庭園管理方法を取りまとめた管理計画の作成及び文化拠点の支援作業として講習会開催を委託されたものである。	有（卒業生1名）	無
9	平成28年度正善院保存整備事業における庭園設計監理業務	H28. 4. 6-H29. 3. 28	京都伝統建築技術協会・堂計画室 特定委託業務共同企業体	鳥取県三朝町に所在する国の史跡三徳山内の正善院庭園において、国の整備補助事業の一環として保存整備基本計画に基づいた庭園の実施設計業務を委託されたものである。また工事期間中は委員会運営への協力、工事業者への技術指導、監理も委託された。	有（卒業生1名）	無
10	平成28年度櫻井氏庭園基礎調査業務委託	H28. 7. 1-H29. 2. 28	奥出雲町	島根県奥出雲町の重要文化財櫻井家住宅の庭園は、松江藩主松平治郷(不昧公)が巡検に訪れた際に築庭したとされる名庭として知られるが、その詳細はこれまで詳らかにされていない。そこで歴史的背景を示す史料調査及び名庭の実測を行い価値評価書を作成した。	有（卒業生4名）	無
11	奈良公園 整備計画策定業務（高畑町周辺地区整備事業（社会資本）（主プロ））第203-委-2・204-委-1号	H28. 6. 28-H29. 3. 24	奈良公園事務所	奈良県奈良市の名勝奈良公園内に所在する旧裁判所跡地庭園に関わる保存整備事業において、文化財保全の観点からの指導並びに環境調査（植物調査）を実施し、また文献等から歴史的概要の整理、各調査成果に基づく庭園の歴史的価値を作成することを委託されたものである。	有（卒業生4名）	無
12	彦根城博物館内庭園修景整備委託業務	H28. 6. 1-H29. 3. 24	彦根市教育委員会	彦根城博物館内に位置する庭園の主に植栽に重点を置いた修景管理及び主要木の修復剪定作業を委託されたものである。また、彦根城常設作業員に対し剪定の指導と庭園の管理指導を行った。	有（卒業生3名）	無
13	名勝深田氏庭園保存整備基本計画策定等業務	H28. 7. 22-H29. 3. 24	深田威美 3月に所有者変更 (深田耕太郎)	鳥取県米子市に所在する名勝深田氏庭園の庭園本来の姿・魅力を取り戻す整備の一環で、保存整備基本計画書の作成と平成28年度整備事業として、名勝範囲のき損箇所の修復設計、工事監理を委託されたものである。また、専門の見地から技術指導及び助言、委員会の運営支援を委託された。	有（卒業生3名）	無
14	平成28年度日本万国博覧会記念公園日本庭園修景管理講習会	H28. 9. 1-H29. 3. 17	阪神造園建設業協同組合	日本万国博覧会記念機構策定「日本万国博覧会記念公園 日本庭園改修基本計画平成19年度」に基づき、日本万国博覧会記念公園日本庭園に設定したゾーン毎の修景管理を指導する。指導方法は講習会形式で開催し、特に修景として手をいれるべきエリアの技術向上に必要な樹種の剪定指導を行った。	有（卒業生2名）	無
15	平成28年度宇治市名勝総合調査「宇治の名勝地」現状基本調査研究委託業務	H28. 9. 26-H29. 3. 24	宇治市	宇治市内に存する名勝地のリスト化を図り、現状と関連文献等を調査の上、今後の宇治市内における名勝指定検討の価値判断の基礎資料を作成した。リスト化した「名勝地」候補の現状、文献等を整理し基本データ化すること、また名勝地の保護に関する方策の検討のための助言指導を委託された。	有（学部生1名、院生1名、卒業生2名）	無
16	観光施設設計委託業務	H28. 11. 17-H29. 1. 31	株式会社大建コンサルtant	愛知県知立市が設置している公園整備に関わる委員会への助言及び指導のための委員の派遣並びに委員会の資料作成を委託されたものである。入籍かきつばた園の設計を受託している株式会社大建コンサルタントから委託されたものである。	有（卒業生2名）	無
17	奈良公園 庭園調査業務（奈良公園環境改善事業）第208-委-22号	H29. 2. 8-H29. 3. 31	奈良公園事務所	名勝奈良公園の春日大社に隣接する地で自然に恵まれた対象地の保存整備事業の検討に資する基礎的データを取得するため、追加調査を委託された。主に茶室跡の発掘調査掘方、埋戻し作業、また名勝・史跡、歴史的環境に関わる保存修復の専門機関として事業推進に必要な専門分野の助言指導を行った。	有（卒業生3名）	無